

# 平成23年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年6月17日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,166億円余
2. 前年同月比	-4.3% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.4%(88.7%) : 非店頭-10.8%(11.3%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	919,001㎡ (前年同月比:-1.6%)
6. 総従業員数	19,406人 (前年同月比:-7.6%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 0.8%、11-1月 0.4%、12-2月 0.8%、 1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%

[参考] 平成22年5月の売上高増減率は-1.8% (店舗数調整後)

### 【5月売上の特徴】

- (1) 都内各店の5月の入店客数は概ね前年比5~6%の減少となった。この背景には、天候不順や土曜日1日減少等のほか、首都圏居住者の間で遠出を控える傾向が続いていることも要因としてある。一方、郊外店は都内旗艦店の不振を補う形で好調に推移した。
- (2) 東京地区では高額品の売上シェアが他地区に比べ大きい。未だ震災前の水準にまでは戻っていない。具体的には、宝飾品、高級時計、特選輸入衣料などが低調であった。
- (3) 夏の節電を意識した「暑さ対策商材」は都内でも活況であった。具体的には、半袖ワイシャツや高機能肌着等のクールビズアイテムのほか、保冷剤付ストール、遮熱傘、扇子等の服飾雑貨、遮熱カーテンや高機能扇風機等の家庭用品まで幅広く動きが見られた。
- (4) 「家族の絆」に関連した動向では、母の日商戦が各店で二桁増を記録したほか、ブライダルリングの大幅な伸び、肉食志向を受けた食器や調理器具の好調さ等が注目される。
- (5) 6月中間段階までの売上動向は都内各店で回復傾向を強めており、中元の早期受注が好調にスタートするなど、前年水準に戻す勢いで推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)  
①増加した: 4店、②変化なし: 2店、③減少した: 14店、④不明: 1店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)  
①増加した: 3店、②変化なし: 8店、③減少した: 8店、④不明: 2店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)  
①増加する: 5店、②変化なし: 9店、③減少する: 6店、④不明: 1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2011年05月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>116,601,468</b>	<b>100.0</b>	<b>-4.3 ( -4.6)</b>
紳士服・洋品	10,609,954	9.1	-1.5 ( -1.6)
婦人服・洋品	24,039,603	20.6	-6.9 ( -8.2)
子供服・洋品	2,666,978	2.3	-2.0
その他衣料品	2,152,596	1.8	-15.0
<b>衣 料 品</b>	<b>39,469,131</b>	<b>33.8</b>	<b>-5.7 ( -6.5)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,586,824</b>	<b>14.2</b>	<b>-1.4 ( -2.7)</b>
化粧品	6,324,837	5.4	-6.5 ( -8.6)
美術・宝飾・貴金属	5,991,849	5.1	-6.7
その他雑貨	5,952,742	5.1	-4.6 ( -4.8)
<b>雑 貨</b>	<b>18,269,428</b>	<b>15.7</b>	<b>-6.0 ( -6.8)</b>
家具	1,846,999	1.6	-12.7 ( -12.9)
家電	639,874	0.5	5.0
その他家庭用品	4,421,542	3.8	-10.5 ( -10.5)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>6,908,415</b>	<b>5.9</b>	<b>-9.9 ( -10.0)</b>
生 鮮 食 品	4,606,995	4.0	1.6 ( 4.8)
菓 子	7,052,741	6.0	-1.8 ( -0.7)
惣 菜	5,981,205	5.1	0.2 ( 2.0)
その他食料品	8,138,334	7.0	-3.1 ( -2.2)
<b>食 料 品</b>	<b>25,779,275</b>	<b>22.1</b>	<b>-1.2 ( 0.4)</b>
食 堂 喫 茶	3,033,130	2.6	-0.6 ( -1.1)
サ ー ビ ス	2,555,843	2.2	5.4 ( 1.7)
<b>そ の 他</b>	<b>3,999,422</b>	<b>3.4</b>	<b>-10.2 ( -10.1)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)  
※

商品券	5,437,931 千円	-10.7 ( -10.9)
従業員数	19,406 人	-7.6
店舗面積	919,001 m <sup>2</sup>	-1.6

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。また、生鮮食品が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶり、惣菜が7か月ぶりにプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-4.3	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.5	-0.1	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.9	-1.5	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.0	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.0	-0.3	37か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-5.7	-2.0	3か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-1.4	-0.2	3か月連続マイナス
化粧品	-6.5	-0.4	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-6.7	-0.4	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.6	-0.2	36か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-6.0	-1.0	3か月連続マイナス
家具	-12.7	-0.2	2か月連続マイナス
家電	5.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-10.5	-0.4	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-9.9	-0.6	3か月連続マイナス
生鮮食品	1.6	0.1	2か月連続プラス*
菓子	-1.8	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	0.2	0.0	7か月ぶりプラス*
その他食料品	-3.1	-0.2	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-1.2	-0.3	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.6	0.0	7か月連続マイナス
サービス	5.4	0.1	14か月連続プラス
<b>その他</b>	-10.2	-0.4	2か月連続マイナス
<b>商品券</b>	-10.7	-0.5	22か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>